

うたしない

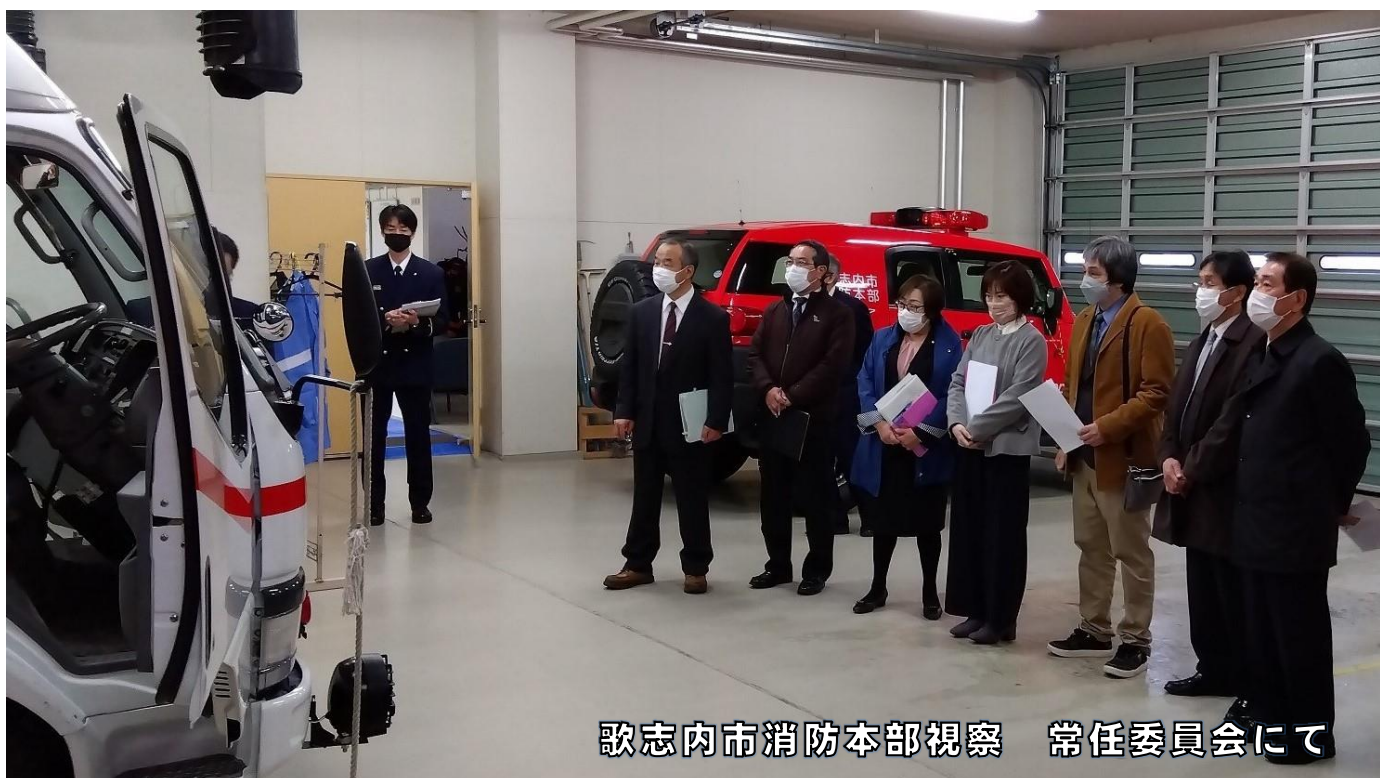
# 市議会だより

第68号

歌志内市議会

議会報編集委員会

発行年月日 令和5年2月1日



歌志内市消防本部視察 常任委員会にて

## 令和4年 第4回定例会 12月開催

【定例会の開催】

12月13日から16日までの4日間の会期で定例会が開催されました。

13日は決算審査特別委員会に付託していた議案の審査結果報告1件、議案11件を審議し、7件の議案を原案どおり可決、複合商業施設設置条例の制定ほか4議案を行政常任委員会に付託しました。14日は休会とし、行政常任委員会に付託した4件の議案の審査を行いました。

## 議会の動き

一般質問は15日4名、16日1名が行い、その後、行政常任委員会に付託していた議案4件と意見書案3件を審議し、いずれも原案どおり可決し、閉会しました。

第1回定例会は3月上旬の開催を予定しています。皆さまの傍聴をお待ちしています。

### もくじ

- 議会の動き……1P
- 一般質問……2～3P
- 行政常任委員会報告……4P
- 決算審査特別委員会報告……4P
- 一部事務組合等議会……4P
- 可決された意見書……4P





下山 則義

一 空き家等対策について

空き家等の増加に伴い、不適切な管理状況の空き家や危険な空き家等が目立ち、市民生活に影響を及ぼしている状況が散見されます。第3回定例会でも質問しましたが、その後の状況を伺います。

**質** ① 当市の空き家・特定空き家等の件数を伺います。

② 空き家管理等台帳で管理する空き家の件数を伺います。

③ 降雪による屋根等からの落雪や空き家等の崩壊等、危険な状況も考えられるが、対応策を伺います。

**答** ① 空き家等の件数は248件で、特定空き家はありません。今後、特定空き家になるおそれのある建物は50件程度と見込んでいます。

② データ処理している台帳は213件で、紙媒体で管理されているものもあり、都度、データ入力を行っています。

③ 通行等支障をきたしている場合は、必要最小限で除雪対応しています。

二 立地適正化計画について

歌志内市立地適正化計画が

作成され、計画書・概要版が配布されました。

**質** ① この計画は歌志内市都市計画マスタープランに示されたまちづくり(コンパクトシティ)を進めるために策定したと説明を受けたが、マスタープランを具現化するためどのように取り組んでいくのか伺います。

② この計画は、プロポーザルで業者に委託していると思うが、契約の仕様書にある成果物を伺います。

**答** ① 本計画策定により文珠地区、歌志内学園周辺を「子育て・教育拠点」と位置づけた区域の整備について、現在の国の財政支援を受けながら整備を進めています。

歌志内学園周辺整備は、令和8年度を整備目標年度としており、その後の区域整備は財政状況を見極めながら、本町区域または神威区域の整備を予定しています。

② 成果品は、立地適正化計画書、概要版、計画書原図一式、これらの電子データ、住民説明会・協議・打合せの記録・議事録、これに加え、(仮称)歌志内市児童センター基本計画書等があります。



能登 直樹

一 带状疱疹の市民周知とワクチン接種にかかる費用の助成について

**質** 予防に関し、どのように市民周知しているか伺います。

**答** ここ数年市民周知は行っていないですが、広報掲載による周知など、適宜実施してまいります。

**質** ワクチン接種にかかる費用の助成について、検討したことはあるのか伺います。

**答** これまで検討は行っていませんが、現在、国において定期接種化の検討が進められていますので、その動向に注視しながら費用助成の必要性について検討してまいります。

二 高齢者外出支援交通機関利用助成事業について

**質** 新たにガソリン給油券などを作成し、利用者の選択肢を増やす検討もすべきと考えますが、近年の燃油高騰に伴い、助成額の増額見直しも検討してはいかがか。

**答** 本事業は、外出に困っている高齢者等への支援を主体とし、令和3年度からはバスの利用券にまで選択肢を増や

し実施してまいりました。

これまで、自家用車を移動手段とされる方達への支援には至っておりませんが、過日実施した「ふれあい市長室」の参加者から同様のご意見をいただいた経過があります。

このため、助成額の増額見直しとあわせて検討してまいります。

三 発達性障害「ディスレクシア」について

**質** 歌志内学園において、疑いがある児童・生徒を早期発見できる取り組みが必要と思うが、学園ではどのような検査を行っているか伺います。

**答** 歌志内学園においては、特別な支援が必要な子どもに切れ目のない支援を行うため、全ての教員が、適切な指導ができるよう校内研修等を通じて必要な知見の取得に努めています。

**質** 疑いのある子どもに対しては、保護者との連携と医療機関へつなげる必要性もあると思うがいかがか。

**答** 疑わしい症状がある場合には保護者へ丁寧な説明を行い、医療機関への通院を促すなどし、早期療養につなげてまいります。



本田 加津子

一 交通弱者に対しての移動手段支援について

**質** 実証実験実施時期や実験参加者募集など具体的な実施内容と利用料金設定について伺います。

また、交通弱者全般を支援対象とするのか伺います。

**答** 公共交通を利用しての実証実験については、新たな高齢者の外出支援と公共交通の利用促進との観点から、市内移動に限った地域公共交通の取り組みとして行うものです。実施時期については、新年度の4月からの開始を目指すこととしており、参加者を募集するという仕組みではなく、利用可能な対象者を定めることとなりますが、基本的な枠組みとしては、現状の高齢者外出支援事業をベースに行うこととして、保健福祉課と検討を進めています。

また、利用する際の自己負担額は、路線バスは100円、タクシーは500円を想定し新年度予算への計上を予定しています。

これら、新年度に取り組み

新たな高齢者の外出支援の拡充については、商業施設が設置されることにより、市内での生鮮食料品をはじめ、日用品等を買ひ揃える環境が整うことを契機として、高齢化率50%を超える本市の現状を踏まえ取り組むものですが、今後の公共交通機関のあり方を見据えながら、関係所管と連携し必要な対策を講じる考えです。

**二 ひとり親世帯への支援についで**

**質** 当市の自立支援教育訓練給付金事業や高等職業訓練促進給付金事業などの取り組み状況について伺います。

**答** 本市においては、これまで、これらの事業の取り組み実績はありません。

しかし、最近、市民からの問い合わせがあることから、事業内容について精査するとともに、事業実施の必要性等を含め検討することとしています。

※他に、「公共交通を維持するための取組み状況について」、「宅配サービス・御用聞きなどの買い物支援について」の質問をしました。



めぐ さとし

**一 福祉灯油助成事業の制度化について**

**質** 令和元年6月と昨年12月の議会において福祉灯油助成事業の制度化について質問を行って来ました。

その答弁においては制度化は考えていないとのことですが、やはり、現在の物価高騰などによる生活の逼迫は大きな問題であることから、福祉灯油の制度化に向けた取り組みが一層必要になってきていると思います。

そこで、今一度、福祉灯油の制度化についての考えと対応について伺います。

**答** 昨今の物価高騰が市民生活に大きく影響していることは十分認識していますが、福祉灯油については、本市における福祉施策全体を鑑みながら、これまで同様その年の情勢を見極め、実施の可否、助成内容、対象者など見直し検討を含め、実施について判断してまいります。

**二 歌志内学園生徒と市長が語る会について**

**質** 11月24日に行われた歌

志内学園生徒と市長が語る会における今回の提案内容は今までの内容とは角度を変えた大変興味深いものでした。

今後、歌志内を担っていく

生徒たちが歌志内の「現在と今後」を授業の中で真剣に考え、議論してきた提案は大人の私たちが思っていることや、今の時代に沿った「なるほど」など、感心させられる内容だったのではないのでしょうか。

このような生徒たちの想いに、行政としてきちんと向き合い、実現可能な施策として議論することが、今後の歌志内を盛り上げていくために絶対必要だと思えます。

そこで、今回の生徒たちの提案について行政としてどう受け止め、対応して行くのか伺います。

**答** 今回の提案は「ハッピーライフ」住みやすいまち、歌志内「」をテーマに、歌志内の魅力のほかに、多くの課題も整理され、さらに、限られた市の財政を考慮した上での実効性の高い提案であったと感じています。

このため、一つ一つの提案について、しっかりと精査し、実現に向け取り組む考えです。



山川 裕正

**一 温泉施設利用優待事業についで**

**質** 温泉施設利用優待事業は、65歳以上の高齢者と障がい者に年間5枚利用券が交付されています。令和3年度決算実績報告書の温泉施設利用優待事業の決算額は、高齢者が228万5千円、障がい者が1万5千円です。高齢者の予算額は316万2千円で、予算執行率72%、障がい者の予算額は5万円で、予算執行率は30%です。高齢者は、1,635人の対象者に対し利用券交付者数1,087人、交付率66%で、障がい者は16人の対象者に対し利用券交付者8人、交付率50%です。

令和3年度の決算実績の利用券交付率と予算執行率を見ると利用券を増やすことが可能と考えますがいかがか。

**答** 温泉施設利用優待事業ですが、現状の利用券交付率、予算執行率の状況から制度のあり方自体を再検討する必要があります。交付枚数を含め検討してまいります。

**二 持ち家のある市民が市営**

**住宅に入居申込する場合の対応について**

**質** 市営住宅の入居者資格には、現に住宅に困窮していることが明らかであることと記載があり、持ち家のある方は別に相談してくださいとあります。高齢者が持ち家を売りに出して、市営住宅を申込する場合、どのような相談対応をしているか伺います。

**答** 持ち家の方による市営住宅の申込の際は、持ち家を売りに出していることが確認できる関係書類等の提出を求め、さらに買い手が付く、付かないに限らず建物の譲渡もしくは解体の誓約書の提出を要件としていることなどを説明しています。

**再質** 当市の空き家バンクに登録することなどで、持ち家を手放す意思が確認できれば入居申込ができる等の対応が取れないのか伺います。

**答** 住宅困窮者のための市営住宅であり、空き家バンクに登録したとしても家に住める状態なので、確かに誓約書をもらって対応したいのですが、その次の展開まで考えなければならぬので、検討したいと思っています。

# 行政常任委員会報告

委員長 山崎 瑞紀

## ▽10月27日

- ・公共施設、公用車に係る燃料費の購入状況について
- ・移住・定住対策の取り組み状況について
- ・広報紙発行及び編集について
- ・ホームページの活用状況について
- ・市有林の管理状況について

「森林環境保全整備事業の進捗状況含む」(現地視察含む)

- ・新型コロナウイルス感染症対策の取り組み状況について(保健福祉課所管に関する事項)
  - ・高齢者草刈り支援事業の取り組み状況について
  - ・職員の研修及び福利厚生状況について
  - ・職員の給与、定員管理の状況について
  - ・職員の有給休暇及び無給休暇の状況について
- ▽11月28日
- ・消防車両及び消防資機材の状況について(現地視察含む)
  - ・火災の発生状況について

- ・救急出動の状況について
- ・災害弱者緊急通報システムの受信・処理状況について
- ・除排雪の計画について
- ・街路灯、防犯灯の管理状況について
- ・市営住宅の入居状況及び使用料の徴収状況について
- ・歌志内市公営住宅等長寿命化計画の進捗状況について

## 決算審査特別

### 委員会報告

委員長 本田 加津子

令和4年第3回定例会で決算審査特別委員会に付託し、閉会中の継続審査となっていた令和3年度決算に係る議案の審査結果について、12月13日の本会議で委員長より報告があり、いずれも全員一致で認定されました。

### ●付託議案

- ▽議案第35号 令和3年度歌志内市各会計歳入歳出決算の認定について
- ▽議案第36号 令和3年度歌志内市病院事業会計決算の認定について

●審査日程  
(令和4年9月13日付託)

▽10月18日(1日目)

- ・消防本部・総務課・選挙管理委員会・市民課・産業課・議会事務局
- ▽10月19日(2日目)
- ・会計室・教育委員会・企画財政課・建設課
- ▽10月20日(3日目)
- ・監査委員事務局・市立病院・保健福祉課

## 一部事務組合等議会

### ▽11月29日

- ・空知教育センター組合議会 第2回定例会 山崎議員
- ・中空知広域市町村圏組合議会 第2回定例会

川野議長・能登議員

- ・石狩川流域下水道組合議会 第2回定例会 本田議員
- ・中・北空知廃棄物処理広域連合議会第2回定例会

女鹿議員

### ▽11月30日

- ・砂川地区保健衛生組合議会 第2回定例会 下山議員
- ▽12月1日
- ・中空知広域水道企業団議会 第2回定例会

川野議長・山川議員



行政常任委員会で市有林を視察

## 可決された意見書

- 带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書
  - 知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書
  - 政府の「難民」認定を国際水準まで高め、支援強化を求める意見書
- ※これら3件の意見書は12月16日に議決し、内閣総理大臣、各関係大臣、衆・参議院議長へ送付しました。

市議会だよりに掲載しきれなかった内容を含め、本会議の審議経過等は会議録に掲載しホームページで公開しています。

なお、会議録の作成には時間を要するため、公開には2〜3か月程度かかります。

### 会議録



## 編集後記

朝晩の冷え込みが厳しくなりまだまだ寒い季節が続きますが、皆様におかれましては、体調管理にくれぐれも気を付け健康で過ごして頂きたいと思っております。

編集委員長 めが